水　産　の　窓

令和６年12月27日
茨城県水産試験場

長期漁海況予報（令和７年１月～６月の予測）について

令和６年12月19日～20日に令和６年度第２回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、12月24日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2024/files/20241224_ukiuo-pac-2nd.pdf）

１．海況

（１）黒潮（潮岬以東）

・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。

・蛇行北上部は概ね伊豆諸島海域の西側に位置し、熊野灘～遠州灘に近づくことがある。

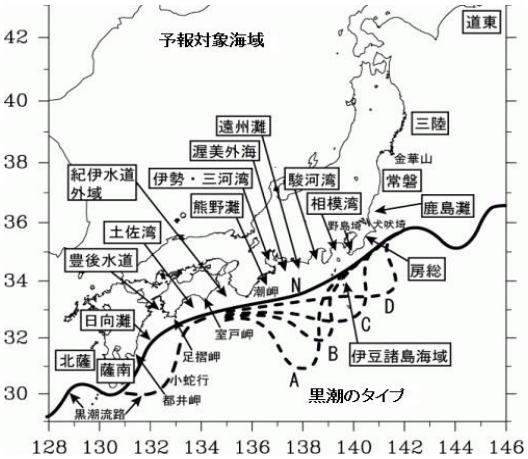
・犬吠埼沖では、沿岸の冷水の分布に伴い離岸することがある。

（２）鹿島灘～常磐南部海域

・断続的に黒潮による暖水が波及する。

（３）沿岸水温

・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。



図．予報対象海域および黒潮の流型

２．漁況

（１）マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域：まき網、定置網、底曳網）

①来遊量：マサバ1歳魚は前年並。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年並。4歳魚は前年並。5歳魚は前年を上回る。6歳以上は前年を下回る。マサバはまき網では極めて低調であった前年を上回り、定置網、底曳網では前年並。ゴマサバはまき網では混獲される程度、定置網では一時的にまとまった漁獲がみられる。サバ類全体としては低調であった前年を上回る。

②漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網、底曳網ではマサバは期を通じて漁獲され、三陸海域の定置網ではゴマサバは一時的に漁獲される。

③魚体［尾叉長］：マサバは期を通じて21cm～36cm（2歳魚、3歳魚、体重90g～550g）主体に、1月、2月および4月以降は28cm～37cm（4歳以上、230g～600g）も漁獲される。

（２）マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：まき網では前年を下回る。定置網では前年並～上回る。

②漁期・漁場：1そうまきの漁場は、1月～5月は犬吠埼沖～三陸南部海域で形成され、6月以降は犬吠埼沖～三陸北部海域、6月下旬には道東海域でも形成される。2そうまきの漁場は、期を通じて房総海域に形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

③魚体［被鱗体長］：10cm～15cm前後（1歳魚、体重10g～40g）、14cm～17cm前後（2歳魚、30g～60g）、16cm～18cm前後（3歳魚、50g～70g）、17cm～20cm前後（4歳魚、60g～90g）。まき網では3歳以上、定置網では1歳魚、3歳魚主体。

（３）カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：房総海域では前年を上回る。三陸南部海域～仙台湾では前年並～下回る。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域では主な漁獲対象にならない。

②漁期・漁場：房総海域では2そうまきにより期を通じて漁獲される。三陸南部海域～仙台湾では定置網により期を通じて漁獲される。1そうまきの主な漁獲対象にはならない。

③魚体［被鱗体長］：9cm～12cmの1歳魚（6g～14g）を主体に、10cm～13cmの2歳魚（9g～17g）が漁獲される。

（回遊性資源部）